

## 「私の第一声⑨」

### 【大学入学試験】

二浪をして、3回目の大学受験シーズンを迎えた崖っぷちの私は、受験する大学を決めるのに苦労しました。二浪していたこともあり「(バイト代と奨学金で払える)学費の安い国公立しか選択肢はない」と保護者に言われていました。下宿費用までは自分で出せないから、大阪近辺が望ましい。多少マシにはなったとはいえ、苦手な英語は二次試験にない方がいい。得意な国語を活かしたい。

そんな都合のいい大学、あるのでしょうか…? 必死で探して、見つけました! 大阪教育大学。国立なので学費は自分で何とかかなりそう。センター試験の5教科に英語はあるけど、教員養成の学部なので二次試験は自分の得意な1教科だけでよい(国語が選べる!)。当時、キャンパスは池田市で、堺市からでも通える。ここに決めました。

こんなに崖っぷちなのに、受験当日、梅田で乗る電車を間違えて到着が遅れます。下見はしていたので、場所はわかっています(中3生の受験生の皆さん! 受験会場への経路確認などの下見を、自分自身ですておくことをお勧めします! コロナ感染には気をつけなくてはなりません)。悲壮な蒼い顔をして、阪急池田駅からダッシュで受験会場の大学キャンパスに向かいます。長距離走が得意だったはずだけど、浪人でなまった体にはつらい。呼気がキューキューなります。足を絡ませながら大学の正門に着きます。職員らしきおじさんが「あんた受験生か? まだ間に合うぞ! 後ろに乗り!」と、作業用のごつい自転車の荷台に乗せてくれ、試験会場の建物の前まで送ってくれました。受験票を握りしめ、ゼーゼー言いながら席に着いたとたん、問題用紙が配られ、試験が始まりました。何とか間に合ったのでした。

試験は思ったより難しく、特に苦手な毛筆関係の出題が多く、走ってかいた汗が、冷や汗に変わったのを覚えています。

結果は…合格でした! うれしいというより浪人生を続けなくてよいことに、ホッとすることを覚えています。

資格試験などの講師経験の豊富な方にお話を聴く機会があったのですが、試験直後に「できた!」という感想の人より「だめだった!」

という感想の人の方が意外と合格するというのです。試験内容の理解度が高い人の方が、できなかった部分をはっきり自覚できるために「だめだった!」と思うのだそうです。中3生のみなさんも、受験直後に「よかった!」「だめだった!」と早合点せず、結果が出るまでは、ゆったり待つのがいいかもしれませんね。

### 【進路選択に際して～面接練習の様子から】

2学期の終わりから私と教頭先生で、中3生の面接練習をしています。生徒と話をするのが大好きなので、私にとっては楽しいひと時です。必ずしも全員に実際の面接試験があるわけではないのですが、普段はとても活発な生徒も緊張している様子が伝わってきて、この時期の社会勉強の1つとして大切な経験だなと感じます。礼儀正しく爽やかにやりとりできる生徒が多く、成長を感じうれしく思っています。

私の担当した生徒全員に、次の3つについて、表現を変えながら質問しました。「中学校で何をがんばったか」「進路先では何をがんばろうと考えているか」「それらはあなたの将来にどう関係していくと思うか」これらは、キャリア教育の「過去と将来の自分を結びつけることで自分の人生をデザインし、今、自分のすべきことを考える」ためのきっかけとなります。明確に答えられる生徒もいれば、考えながらポツリポツリ語る生徒もいました。もちろん、自分の人生を中学生の今、決定してしまう必要はありません。いつでも、何度でも、修正を繰り返して進んでいくものですから。私自身も、恥ずかしながら大学選びでさえ、将来ではなく目の前の「大学に行く」ための選択でした。「教員になろう」と思ったのは、大学を出る時でしたから。しかし、思い返せば、結局、自分の今の力をしっかり把握し、目標を明確にするまでは、次のステップに進めなかったのだなあとわかります。

新しい年の始まった時期でもありますが、中3生だけでなく、1・2年生の皆さんも、これまでに自分の培った力や経験を確認し、将来の自分と結びつけて、今、自分のしたいことを考えてみてください。

【不定期コラムNo.20】へつづく

### 第三中学校ホームページ

では、子どもたちの様子やお知らせなど情報発信しています。ぜひご覧ください。これまでの不定期コラムも「校長室より」のコーナーでご覧いただけます。

<http://www.kaizuka.ed.jp/dai3-jh/>

貝塚第三中学校HP



貝塚第三中学校HP